

～この人と語る～

2021

千坂校下コミュニティ協議会会報



写真：整備がすすむ海側幹線（2022年度末供用予定）

（2021. 12. 22 撮影）

各種団体長 座談会 (この人と語る)

コミュニティ協議会(会長 浦良一)は、令和3年9月24日(金)に公民館において、「各種団体長との座談会」を開催した。

座談会には、浦良一コミュニティ協議会会長(町連会長)、菱輪勇紀雄社会福祉協議会会長、元木児童館館長、福島恵子民生委員児童委員協議会会長、戸水徹老人クラブ連合会会長が出席した。

司会は、奥出健三コミュニティ協議会副会長、記録は中真市コミュニティ協議会副会長、オブザーバーとして北側美恵子コミュニティ協議会副会長(少連会長)が務め、主な話題として①出身②経歴③現況④会長を受けた経緯⑤活動内容⑥現在の課題⑦趣味等について、活発な話し合いが行われた。



【司会】 皆さん、こんばんは。お忙しい中、お集まりいただきまして、どうも有難うございます。昨年は、新しく会長になられた方々をお迎えして座談会を開催しました。

今回は、逆に超ベテランの会長においで頂いております。

前回は ご自分の経歴であったり、会長になった経緯などを中心に趣味なども含めお話し頂き、それを冊子にまとめ校下の全戸に配布致しました。

今年も昨年同様全戸に配布する計画です。座談会につきましては、皆さんいつも通りの調子でお話し頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します。



司会進行 奥出健三
コミュニティ協議会副会長

本日、司会進行を務めます奥出でございます。最初にコミュニティ協議会(町会連合会)の浦会長からご挨拶をお願い致します。

【会長：浦】 大変お忙しい中、お集まりいただきまして有難うございます。日頃からコミュニティの活動にご協力頂いておりますことに敬意と感謝を申し上げます。

昨年よりのコロナ禍に於いて、いろいろ活動が制限される中で、創意工夫をしながら、諸団体活動に取り組んでおられることと思います。

私もこの1年半、皆さんの活動を見させていただき、いつも感心しています。一方では、各種団体の顔が見えない、どのような活動をしているのか、地域の方々に十分な理解と周知がなされていないのが

現状です。

については、今年度はベテランの諸団体長の方々に活動の内容や課題等について忌憚のないお話を聞かせていただき、後日広報して、地域の方々により理解及び協力していただく一助になればと思っています。



コミュニティ協議会会長
浦 良一

【司会】有難うございました。

それでは、児童館の元木館長から宜しくお願い致します。

【児童館館長：元木】 出身は、千木(本町)です。昭和28年11月、千木小学校2年生の時に、新たに創設された千坂小学校に転入しました。

当時は、まだ体育館が無かったので廊下で第1回卒業式が行われたことを覚えています。

経歴ですが、鳴和中・市立工を経て、先の東京五輪の昭和39年に電電公社(現NTT)に入社し、入社2年目の19歳の時に労働組合に関わり、平成20年にリタイアするまでの現役44年の内、概ね3分の2を労働運動に専念する人生でした。



児童館館長
元木 千明

地域では、平成16年頃から千木親和町会の書記・副会長を、平成20年からは町会長を4年、並行して町会連合会の常任理事1年、会計1年、副会長を4年務めました。

特に印象深いのは、平成26年～平成27年にかけて「千坂校下町会連合会50年史」の発刊作業に従事したことです。

委員長に中屋保雄副会長が就き、計7名の役員が分野ごとに作業を分担、紙面322頁に及ぶ全頁の読み合わせとチェックを積み重ねて完成することができました。

私は、副委員長として企画・工程管理・年表を担当しましたが、関与された全ての委員の熱い思いが詰まった労作だったと思います。

機会があれば是非ご一読下さい。千坂校下の歴史・内容がわかりやすく書いてあります。

また、平成21年から千坂児童館副館長を2年、平成23年から館長をお引き受けして10年になります。

千坂校下に児童クラブが発足したのは、平成3年4月で市内30番目の「放課後児童(千坂のびのび)クラブ」として横枕の民家に25名位の児童を受入れてスタートしました。

3年後に公民館の移転・新築と旧公民館を単独児童館に転用するという話がまとまり、平成6年4月に、旧公民館を拠点に千坂のびのびクラブがスタートしました。

児童館との関わりは、横枕の民家で発足した千坂のびのびクラブに息子を預かって貰ったことがきっかけでした。私は、保護者会の初代会長を務めました。これが縁で、当時の小幡多喜吉児童館長からの副館長のお誘いを受けたことです。

私は、80歳を節目にご勇退された小幡館長の後任として運営委員会の議を経て3代目館長をお引き受けすることとなりました。

現在の課題ですが、児童館は昭和53年に建設された旧公民館を転用して創設されたもので、築43年がたちかなり老朽化してきておりますので、将来展望への検討が必要と考えています。

また、近年児童館周辺はアパートの急増と共に、車の往来も増えてきています。毎日児童をお迎えに来る保護者への交通マナー指導、交通安全上の注意喚起対策も急務であります。

趣味は、読書が好きです。現役時代は労組組合活動を一生懸命になっていた関係で、社会問題の本をよく読みました。分野としては、古典・歴史・政治や経済・推理小説などです。

他には、今では60代から始めて18年になる写真活動、また千坂グランドゴルフクラブに入会して14年、コロナ禍で思うように動けないのが残念です。

令和2年度からは万年 青学級の運営も手伝っています。

【会長からの質問】 …… 児童館と学童の違い 受け入れ時間及び職員数等
はどうなっていますか……

児童館は、児童福祉法で0歳～18歳未満の子どもに門戸を広げ、健全な遊びを与え、健康の増進と豊かな情操を育むことを目的として設置されています。

「午前解放」や「親子ふれあい教室」という形で親子が来館して遊具等を使って遊ぶ時間をサポートしています。

18歳未満の放課後児童のフリー来館を受け入れていますし、その他に本の貸し出し、映画ランド、将棋教室、レク活動などがあります。

また、児童クラブは児童館が運営主体となり、毎年入所を希望する児童を受け入れています。

行事では大掃除、遊具点検活動、ボランティア活動、バス遠足、七夕まつり、児童館フェスティバル、クリスマス会などがあり、これらの活動には保護者全員の登録で組織されている通称：親子クラブ(会長 福島恵子さん)に大変お世話になっています。

「午前解放」や「ふれあい教室」に対応する為、10時から開館します。昼食休憩を挟んで13時から実務的な業務をこなし、15時から放課後児童クラブ(学童)及びフリー来館の子どもたちを18時まで受け入れます。この間、宿題の時間、おやつタイム、遊び時間に分けて保護者が迎えに来るまで規則正しい生活を行います。

長期休業時間(夏休み、冬休み、春休み)では、午前8時30分～18時までの勤務となります。

一連の対応には正規の職員3名の他にパート職員3名、また、長期休業期間中は大学生の応援アルバイトを募って対応しています。

【司会】おもしろい歴史を聞かせて頂きました。皆さんも何か聞きたいことはありませんか？ 無いようでしたら

次に、民生委員・児童委員の福島会長宜しくお願い致します。

【千坂地区民生委員協議会会長：福島】

出身は愛知県の名古屋市で昭和31年(1956)4月に生まれました。

昭和30～40年代の経済成長時代に田舎から町へと変化して行く南部工業地帯の車が多く、とても空気の悪い所で育ちました。

時期的には東京オリンピックが昭和39年で、私は小学校の2年生、大阪万博は昭和45年で中学の2年生でした。中学2年に同じ愛知県の一宮市に引っ越し、その時点で故郷の名古屋の自宅はなくなりました。

昭和56年に結婚を期に金沢に来て以来、40年間今のところに住んでいます。

結婚をして20年間は専業主婦でしたが、その後20年は現在の会社に勤めています。

その間に次男が平成3年に千坂小学校に入学したことによって、育友会活動を始めたのが活動のきっかけとなりました。

先ほど元木さんも言われたように、平成6年に千坂児童館ができました。地元の方々の努力で出来たのですが、そこに母親クラブ(通称：親子クラブ)を作るということで、育友会・少連・婦人会などから女性会員を募集して、発足しました。

初代会長が元木さんの奥さまで、私はその2年後に会長になり現在に至っております。

その活動中に当時民生委員の高田会長が来られて、民生委員の中に主任児童委員というのがある。

その児童委員を退任する人がいるので、後を引き継いでやって貰いたいとスカウトされ、平成9年1月1日から主任児童委員になりました。

平成28年12月から民生委員の会長を、養輪会長より引き継ぎ今年で5年目になります。また、主任児童委員として、青少年健全協議会や千坂児童館の行事に参加したり、千坂地区社会福祉協議会事業の「北鳴地区子育てサロン たんちくらぶ」や「千坂ふれあい食堂」もしています。



民生委員児童委員協議会会長 福島恵子

千坂地区民生委員協議会は町会を担当する23名の民生委員と、校下全体の子 どもを担当する主任児童委員の2名で構成され、定員は25名です。

毎月第一土曜日の午後に公民館で定例会を開催しています。

主な活動は、千坂地区社会福祉協議会の敬老会や、お弁当の配食などの事業や 金沢市から依頼された高齢者調査や訪問活動です。

コロナ禍で延期になっていた高齢者福祉保健台帳の一斉調査を、10月から65歳 以上の支援が必要な方の調査をします。

65歳以上で高齢者だけで不安な方や、介護サービスを利用したい方は、是非相談をしてください。

地域で安心して暮らせるよう見守り活動をしていますので、調査にご協力をお願いします。

趣味は特にありませんが、バス旅行に行く時に企画を考えるので、地図を見たり、テレビの旅番組などで、皆さんを連れて行くと喜んで頂けるかなあー。という目線でテレビなどを見ています。 早く皆さんと一緒にバス旅行や、研修旅行に行けたらいいな・・・と 思っております。

【会長の質問】・・・ 先日、テレビで人権関係の報道で、福島さんがインタビューを受けておられましたが・・・

6月1日の人権擁護委員の日を、テレビや新聞各社でPRしました。 NHKでは、朝・昼・夜のニュースで放送されたので、皆さんからたくさん連絡がありました。

人権擁護委員は、金沢市に23名委嘱されていて、誰にでもある人権を守る活動をしています。

【司会】 福島会長どうも有難うございました。

それでは次に、老人クラブ連合会の戸水会長、宜しくお願い致します。

【老人クラブ連合会会長 : 戸水】 私の生まれは旧満州国奉天市(ほうてんし)です。

「現在は瀋陽」(しんよう) 5歳まで居ました、終戦後昭和 21年6月に引き揚げてきました。

個人的なことですが、父親は満州奉天市で34歳で病死し母親と私と弟と3人となり、このまま満州に居たら恐らくロシア軍が満州へ攻めて来るのではないかと、朝鮮まで行った方がいいのではとのことになり、着いたのが今の 北朝鮮平壤「ピョンヤン」でした、大変な食糧難で苦しい生活だったと思います。

平壤 で弟が悪性のはしかに罹り亡くなり、又栄養失調により多くの子供、お年寄りが亡くなり 平壤の小高い丘に埋める処がないくらい埋めたと言うことを後ほど母親から聞きました。平壤には多くのロシア兵が居て日本人女性を連れて行くとのことで、又満州奉天に戻ろうと言うことになり、帰る途中安東「現在は丹東」と言う処で、母親が発疹チフスに罹り 今日か明日かの命になり、別々の行動で満州奉天に戻りました。

もう母親は居ない と思っていたが、何か月かたって生きて居ることがわかり、あの広い満州でまた再会する事 が出来、日本へ帰ることが出来ました。

もう少しで中国残留孤児になるところでした。これも運命かと思います。

育った処は旧河北郡高松町山手の方で宝達山の麓です。

千木親和町会へは、昭和43年3月に来ました。 当時小松市役所に勤務していましたが、通勤の便が悪いのと、月給が低い事もあり15年間勤めた市役所を退職し設計事務所を開設し今日に至りました。

その間に千木親和町会の会計、書記、副会長をさせて頂き、平成13年4月から4年 間いたしました。

平成20年町会に老人クラブ「千楽会」が発足し、会長を受けることになり、その2年後 に千坂校下老人クラブ連合会の前会長坂本さん依り、連合会長になってもらえないか という依頼があり、前もって情報も入っていたので、渋々会長を受けることになり、今年で11年となります。

その間金沢市老人連合会「市老連」の理事を6年間、評議委員を2年間させて頂きました。 又校下老人クラブ連合会に所属しているクラブは11の単位クラブがあります、会員数は540名です。 11



老人クラブ会会長
戸水 徹

うちの平成13年からは町会連合会の役員として堀さん、川北さん、西田さんの3人の町会連合会会長と一緒させて頂き、校下のいろいろなことに関わって来ました。

社会福祉協議会の前会長西田さんより、民生委員を退任したらあなたが会長になるんだと前々から言われており、何の抵抗もなく引き受けることになりました。

平成29年に社会福祉協議会の会長になり5年目です。

社会福祉協議会の定義は「地域における住民同士が自分たちが住んでいる地域の生活や福祉課題、また困りごとを自分たち自身の課題と受け止め関係機関や専門機関と連携協力して解決に向けて協議し、誰もが安心して共に暮らせる福祉のまちづくりを目指す地元住民主体の活動組織」という事になっています。

わかりやすく書いてありますが、なかなかこういう風には行きません。

私が思うには、地区社会福祉協議会の役割とは、地域の実情を把握し、地域に合った活動計画を立て実行して行く中で見えてくる課題(困りごと・悩み等)を解決して行くことが主な役割だと思っています。

活動計画を立てるに当たっては、①ふれあう、②学ぶ、③支える、④見守る、⑤知らせる、⑥募る、の六つを基本として千坂地区社会福祉協議会では、いろいろな事業を行っています。

①ふれあうでは、サロン、ふれあい食堂、敬老の集い、一人暮らし旅行、子育てサロンボランティアの研修旅行等

②学ぶでは、福祉に関する講座、まちぐるみ福祉推進員やサロン責任者・地域包括支援センターを交えた合同研修会、人権に関する研修会、性の多様性を理解するLGBTQの研修等

③支えるでは、ボランティア団体や福祉団体への支援、福祉相談窓口、おたすけ隊、赤ちゃん誕生祝い金、ひとり親家庭の入進学祝い金、卒寿の記念品、歳末見舞金等

④見守るでは、見守り活動、声掛け、安否確認、まごころ弁当、おはぎの配布、お正月用の福梅の配布等

⑤知らせるでは、社協だよりの発行等

⑥募るでは、赤い羽根共同募金、法人募金、歳末助け合い募金等

このようにさまざまな事業をおこなっている中で苦情もあります、またお叱りを受けることもあります。その都度役員や関係機関と相談しながら最善の方法を取りご理解いただいています。

尚これら事業の運営費の大部分は皆様からの募金で賄っております。またこれらの事業の実務は民生委員協議会が行っていますので、民生委員協議会がなかったら社会福祉協議会の事業は成り立ちません。

課題としては、どの団体も同じですが後継者がいない、育たないことかと思えます高齢化が進む中皆様のご協力をお願い致します。

【金沢市の調査から】

現在、千坂地区の人口 11,761人。

世帯数 5,147世帯。 65歳以上 2,934人。 75歳以上1,428人。

90歳以上 218人 高齢化率 24.9%

【司会者】 蓑輪会長。どうもありがとうございました。今日は皆さんどうも有難うございました。

後日、書記として出席した中副会長およびオブザーバーとしての北側副会長に感想を聞きました。

【中副会長】今回お話頂いた方々は大ベテランで何か歴史を感じました。

座談会の原稿を仕上げて校正をお願いしたところ、うまく聞取りが出来なかったため多く訂正箇所もありましたが、校正された文面を尊重して掲載させていただきました。



中 福会長

副

[北側副会長] 団体長の方々のご苦労と活動がよくわかりました。
特に戸水さんが大変な生活をなされてきて今がある事に驚き感心しました。
たくさんの地域の皆さんのご協力と支えがあり各団体が活動に努力されている様子がわかりました。
今後どうぞよろしくお願いします。



北側 副会長

千坂校下の諸団体名と代表者名

団 体 名	氏 名
町会連合会・自主防災会・コミュニティ協議会	浦 良一
公民館・青少年健全育成協議会	山腰茂樹
社会福祉協議会	蓑輪勇紀雄
児童館館長	元木千明
婦人会	佐藤佳世子
少年連盟	北側美恵子
防犯委員会	森下 忍
消防分団	竹村健一
交通安全推進協議会	麦田 徹
老人クラブ連合会	戸水 徹
千坂小学校育友会	川合範英
消防後援会	浦 勝利
更正保護女性会	土居本美代子

表紙写真について

2022年度末に暫定2車線で供用予定の海側幹線の整備状況をドローンで、福久町方面から千田町方面に撮影された航空写真です。

北部の町会連合会が一体となって、これまで整備促進と海側幹線沿いの開発等を関係機関に要望してきました。

当道路の供用が、千坂地区が北部の玄関口として活性化していくことに期待しています。